資料３

令和８年度　犬山城関連主要事業進捗状況について

１．犬山城の保存活用に関する事業

（１）石垣調査の実施・・・資料４

＜石垣調査＞

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

実施個所：桐の丸、松の丸、七曲等

委 託 先：株式会社アコード　名古屋営業所

委託期間：令和８年６月３０日～令和９年３月２６日

＜石垣年代調査＞

○犬山城に残る石垣を他城の石垣と比較することで、その特徴を明らかにするとともに、文献資料、絵図等と照合することにより、石垣の構築年代、修理年代を推定する。

実施個所：本丸、桐の丸、松の丸、七曲等（詳細は今後調整）

委 託 先：名古屋工業大学濱田晋一准教授（受託研究）

委託期間：令和８年５月１２日～令和９年３月３１日

（２）犬山城城郭内樹木剪定伐採・・・資料５

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、剪定・伐採等を実施。

内　　容：内堀、桐の丸東側を中心に危険度、緊急度、重要度等に応じて管理対象木（眺望に影響を与える樹木）の剪定・伐採を予定。

実施時期：樹木剪定　令和８年１０月頃、樹木伐採　令和９年１月頃（予定）

（３）犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）整備

○犬山城大手門枡形跡の一部である犬山市福祉会館跡地の史跡整備のための実施設計及び設計に必要となる情報を得るための調査を行う。

＜史跡整備実施設計＞・・・資料６

委 託 先：株式会社フジヤマ名古屋支店

委託期間：令和８年６月２９日～令和９年３月２６日

内　　容：①現場浸透試験
②施設等の意匠・構造検討
③説明・案内施設、模型等の展示検討（便益施設屋上も含む）
④電気、機械、給排水設備の検討
⑤実施設計図の作成

＜便益施設実施設計＞・・・資料７

委 託 先：合同会社斎藤信吾建築設計事務所

委託期間：令和８年５月１２日～令和９年２月２６日
内　　容：便益施設（建築物）の実施設計

＜便益施設展示実施設計＞

委 託 先：株式会社トータルメディア開発研究所
委託期間：令和８年７月１３日～令和９年３月２６日
内　　容：①ＡＲ（現実拡張）コンテンツ及び犬山城ＣＧの検討
②デジタルサイネージの検討
③解説グラフィック（パネル等）の検討

＜物理探査（地中レーダー探査）＞

○犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）で、発掘調査により確認された戦国期の堀の規模・範囲を物理探査（地中レーダー探査）により確認する。
委 託 先：独立行政法人国立文化財機構　奈良文化財研究所（受託調査研究）
委託期間：令和８年５月２７日～令和８年１０月３０日（現地調査は７月６日～１０日に実施済）

＜犬山城古写真分析＞

○明治期の犬山城が撮影されたガラス乾板５枚のデジタルデータ化と、５枚のうち大手門が撮影されている写真１枚の分析を行う。
実施時期：古写真デジタルデータ化　令和８年８月頃（予定）
古写真分析　令和８年９月頃（予定）

（４）史跡犬山城跡説明・案内施設基本設計

○史跡犬山城跡整備基本計画に基づき、史跡全体の説明・案内板等の各種サインを整備するための基本計画を作成する。
委 託 先：株式会社プレック研究所
委託期間：令和８年７月８日～令和９年３月２６日
内　　容：①既存施設の現状把握
②設置箇所の検討
③構造・意匠の検討
④動線の検討
⑤板面レイアウトの検討
⑥基本設計図の作成

（５）史跡犬山城跡標識設置

○史跡犬山城跡整備基本計画に基づき、「史跡名勝天然記念物標識等設置基準規則」に則って、史跡標識を設置する。
設置場所：犬山城前広場「国宝犬山城」自然石銘板横
仕　　様：自然石角柱陰刻

記載内容：史跡の名称、文部科学省、指定年月日、設置年月日
実施時期：令和９年２月頃（予定）

（６）犬山城天守防災対策計画に基づく事業

○国宝犬山城天守の防災対策等についてまとめた「犬山城防災対策計画」に基づき、各種対策事業を実施する。犬山城天守に関しては防災設備改修工事に向けた実施設計を行う他、警備・運営などのソフトの両面からの防災対策強化を計画的に進める。併せて石垣の予備診断を進め、対処方針を策定し史跡犬山城跡全体の来訪者の安全確保、史跡の恒久的保存に万全を期す。
なお、実施設計にあたっては、犬山城防災対策検討委員会等の指導及び助言を受けながら進めるものとする。
併せて、「国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画」に基づき犬山城天守の展示内容の見直しを行う。

＜天守防災設備改修工事実施設計＞

内　　容：犬山城防災対策計画に基づき犬山城天守において更新及び新設する防災設備の詳細な仕様及び設置位置等を決定するため実施設計を行う。
委 託 先：永田設計事務所
委託期間：令和８年５月１２日～令和９年３月１５日

＜天守展示改修工事実施設計＞

内　　容：国宝犬山城天守・史跡犬山城跡保存活用計画に基づき、犬山城天守の展示の改修を行うため実施設計を行う。
委 託 先：株式会社乃村工藝社
委託期間：令和８年７月１日～令和９年３月２６日

（７）犬山城天守高欄等の修理工事

○天守地下２階階段西側手摺修理工事を実施した。今後はその他２ヶ所の修理工事を実施する。

＜天守地下２階階段西側手摺修理工事＞・・・資料８

工事内容：天守地下２階から地下１階に上がる階段西側の手摺の最下段の親柱と髄桁の接合部が劣化し緩んでいることから、同親柱脇に添え柱を当て、その上部を梁に固定し補強することで、既存の手摺及び親柱のぐらつきを改善する。
受 注 者：田中社寺株式会社
工　　期：令和８年４月２３日から令和８年５月２９日

＜天守４階高欄修理工事＞

工事内容：
①高欄の束と地覆の接合部の腐朽及び痩せ、縁板欠損部などにより生じている隙間について埋木修理を行う。
②雨掛かりによる腐朽の進行を防ぐため、高欄及び縁板に防腐剤を塗布する。
③４階外壁と縁板の接合部の水切銅板際の劣化したシーリングを打替える。

＜天守３階東西破風の間突上戸修理工事＞

工事内容：

①破風の間突上げ戸の既存蝶番が抜け落ちており、原位置に打ち直すには母材の傷みが大きく埋木によっても耐久性の確保が難しいため、既存蝶番の脇に蝶番を新設し戸を留め付ける。

（８）宗門櫓実測調査

○新型コロナ等によりしばらくの間中断していたが、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図る目的で、移築された宗門櫓の実測調査と痕跡調査を実施する。江南市へ移築された櫓の現地調査と、現在の針綱神社内にある櫓跡地の調査を実施する。

予 定 日：令和８年１１月１２日及び１１月２６日

調査指導員：名古屋工業大学大学院　濱田晋一准教授

（９）天守前雨除け施設更新に向けた検討

○天守前雨除け施設は天守正面に設置されており、来訪者の靴脱ぎ場・雨除けとして利用されている。テント屋根の下には、靴を入れるビニール袋を回収するための箱、傘立て、すのこなどが設置されている。

天守正面の外観を損ねていること、テント生地が変色しやすく耐久性、耐候性が低いこと、また、テントと天守の庇が接する部分に落ち葉が溜まりやすいことなど課題があるため、将来的には史跡の歴史的景観に調和するようにデザイン性を考慮しながらも防風、防雨対策として十分な機能を発揮する恒久的な便益施設としての更新を検討する。

（１０）「近世城郭の天守群」の取り組み

○令和８年５月に、世界遺産登録に係る推薦書（案）を提出した彦根城の動向を注視しつつ、今後の活動の方向性を検討する。

・令和８年８月２３日（日）に国宝五城合同床みがきを実施予定（犬山城みらいサポーターが参加)。

・令和８年８月２６日（水）３市市民交流会を開催予定（オンライン開催)。

・世界遺産委員会の諮問機関であるＩＣＯＭＯＳ（国際記念物遺跡会議）の学術委員会ＩＣＯＦＯＲＴ（城塞軍事遺産国際学術委員会）の国際会議が松江市で開催されるのに合わせて、エクスカーションとして松江城、松本城、犬山城を視察していただき、近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループの委員との意見交換を行う（１１月で調整中）

（１１）犬山城みらいサポーターの取り組み

○未来を担う子どもたちが主役となり、犬山城に愛着を持ち、市民の力で美しく後世に引き継ぐため、「犬山城みらいサポーター」の取り組みを引き続き実施する。

第１回　令和８年度　国宝五城天守合同床磨き

令和８年８月２３日（日）

※その他、犬山城の情報発信に繋がる活動を実施予定（年３回程度）

（１２）犬山城に関する講演会の開催（※詳細調整中）

○「犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地)」は令和７年９月に史跡追加指定され、現在史跡整備に向けた取組みを進めている。史跡整備に向けた市民の理解促進と機運醸成を図るため、大手

門枡形が繋いでいた犬山城と城下町について、歴史地理学の観点からその成り立ちや変遷、両者の関係についてご講演いただく。

日　　時：令和８年１２月６日（日）　１４時～１５時３０分（１３時３０分開場）
場　　所：犬山市民交流センターフロイデ　４階　フロイデホール
演　　題：（仮）地図から考える犬山城と城下町
講　　師：京都大学教授　山村亜希 先生（犬山城調査整備委員会委員）
定　　員：２００人程度
入 場 料：無料

２．犬山城の管理に関する事業

（１）主な維持・修繕

〇来訪者が快適に登閣してもらうために、経年劣化した設備等を適切に維持・修繕する。

・登閣道修繕
・加圧給水ポンプ修繕
・犬山城本丸内夜間照明投光器修繕
・犬山城内草刈

（２）入場管理全般の見直し

①混雑緩和策等の検討

・国宝犬山城天守を将来にわたって守り、伝え、混雑緩和、待ち時間の短縮を図るため、電子チケットを活用した時間帯予約、入場者数の上限設定などによる入場管理のあり方を検討する。
・今年の秋から冬にかけての人出が予想される日に実証実験を行い、適切な入場者数の上限や入場管理の実施によるメリット、デメリットについて分析し、来年度の犬山祭やゴールデンウィークなど、特に混雑する日の実施につなげる。

（３）犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化

〇犬山城防災訓練の実施

・令和９年１月２６日の文化財防火デーに合わせ、文化財の防災意識を高めるとともに発災時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山城職員、犬山市消防本部・消防署等との合同消防訓練を実施。（予定）

〇消火用具操作実践訓練（予定）

・初期消火のための消火用具の操作訓練を実施。